



人権尊重

人権に関する基本的な考え方

長谷工グループでは、「長谷工グループ行動規範」の中で「人権の尊重」を明文化しています。グループの社員一人ひとりが人権に対して理解を深め、常に高い意識を持って業務にあたることができるよう、グループ内の浸透を進めています。

長谷工グループ行動規範(抜粋)

2. 行動の基本姿勢

(4) 人権の尊重

あらゆる企業活動の場において、すべての人の基本的人権を尊重し、人種、国籍、出生、信条、宗教、性的指向、性自認、年齢、障がいの有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為を行わない。

人権尊重のための取り組み

長谷工グループでは、人権に対する意識を醸成するための取り組みの一つとして、新入社員の導入研修で人権に関するテキストを配布しています。

また、派遣社員やパートタイマーを含むすべての従業員を対象に、就業規則等でハラスメントに該当する行為を禁止しています。ハラスメントを予防するために、社員向けのeラーニングで定期的に教育を行うほか、社員に配布している

『コンプライアンス通信』や社内掲示のポスターを通じて、啓発を行っています。加えて、社員からのハラスメントに関する相談は、内部通報制度における社内及び社外の窓口にて受け付けています。

さらに、結社の自由や団結権、団体交渉権、団体行動権を企業として尊重すべき基本的な要素と考え、その旨を労働協約の中で定めています。

■ ステークホルダーとのコミュニケーションの事例

長谷工マンションミュージアムにおけるコミュニケーション

長谷工マンションミュージアムは、長谷工グループの創業80周年記念事業の一環として、2018年に東京都多摩市にオープンしました。

集合住宅の歴史や間取りの移り変わり、マンションの設計・施工や修繕・建替えなど、マンションのあらゆることを見て、触れて、感じて、学べる日本で初めてのマンションミュージアムです。

地域の皆様、取引先、国内外の住宅業界に従事する方など、様々な立場の方にご来館いただいている。また、新入社員やグループ会社の研修の他、外部からの研修目的の利用が広がっており、2020年度は1,153名、累計で10,534名の方にご来館いただきました。

2019年9月からは企画展として「マンション防災展」を開催しています。震災の歴史と建築物の構造の進化、共助の取り組み、未来

の防災マンションなどを動画やパネルで紹介し、暮らしの中で役立つ情報を掲載した『防災マニュアル』を来館者全員に配布しています。

今後も、集合住宅の奥深い歴史やマンションづくりの面白さを知っていただくための情報発信拠点として充実を図っていきます。

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策として、館内の消毒、換気、スタッフの検温による体温管理等を徹底しています。



世界と日本の集合住宅の変遷を紹介
する「集合住宅の歩み」ゾーン
企画展示「マンション防災展」

社会貢献活動推進

地域とのかかわりを大切にし、積極的に社会貢献活動を推進しています。

地域社会における活動

長谷工グループは、「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する」という企業理念を踏まえ、社会貢献活動の重点領域として、地域の振興・活性化に係る取り組みを進めています。取り組みにあたっては、グループの建築等に関するノウハウを活用するとともに、グループが管理するマンションの居住者向けサービスの向上にもつなげることを目指しています。

■ 明日香村における企業版ふるさと納税の活用

長谷工コーポレーションでは、明日香村へ2018年から「企業版ふるさと納税制度」を活用した寄付活動を行っています。

2020年度は、明日香村が推進する「住みよい村プロジェ

クト」、「世界遺産登録推進プロジェクト」に関わる事業として①飛鳥ハーフマラソン事業、②誘客キャンペーン事業、③農村魅力づくり事業に活用されています。

貸農園「長谷工明日香コミュニティファーム」

長谷工コミュニティでは、明日香村の景観と農業を経験してもらう取り組みとして、遊休農地を活用した貸農園「長谷工明日香コミュニティファーム」を2018年5月から運営しています。

農業を経験したことのない子育てファミリーやシニアご夫婦の皆さんと、農業知識豊富な明日香村民のふれあいの場となり、交流人口・関係人口の増加に寄与しています。



「長谷工明日香コミュニティファーム」



明日香保育園にジャガイモをお届け

情報開示・対話の強化

ステークホルダーとの対話を大切にし、よりよい事業・CSR活動へと発展させていきます。

ステークホルダーとの対話

■ 株主・機関投資家・アナリストとの建設的な対話

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、社長自らが出席する決算説明会の開催を始め、株主・機関投資家・アナリストとの対話、各種の説明会などを積極的に行ってています。

2020年度の主なIR活動

項目	回数	内容
決算発表後 電話会議	4	四半期の決算発表日当日に年4回(5月/8月/11月/2月)電話会議を実施
決算説明会	1	トップマネジメントによる決算説明会を年2回(5月/11月)実施しているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて5月の決算説明会は中止し、11月の決算説明会は実施
機関投資家面談	138	個別面談・電話取材・スマートミーティングなどを通じて、のべ170社の国内外機関投資家やセルサイドアナリストとの面談を実施
マンション 市場説明会	2	マンション市場説明会は年2回(9月/3月)に実施しており、2020年度のマンション市場説明会は、2020年9月と2021年3月に実施

また当社ウェブサイトでは、決算短信・決算説明資料・有価証券報告書・アニュアルレポート・適時開示資料を英語版も含めて掲載するなど、適時かつ公平な情報開示を行っています。

■ 細田工務店:阿佐ヶ谷周辺での地域共生活動

細田工務店では、快適で豊かな地域・社会の実現とその持続的な発展を目指し、良き企業市民として、芸術文化支援を通じた交流活動や、暮らしをサポートするセミナーやイベントなどを開催し協働することで、本社を構える杉並区阿佐ヶ谷周辺の地域社会への積極的な参加と共生活動を推進しています。



地域小学校への出張授業

「阿佐ヶ谷薪能」

■ 事業所周辺の清掃活動

長谷工グループでは、事業活動において関連の深い地域での清掃活動等を行っています。

芝本社ビル周辺での清掃活動

東京都港区主催「芝地区クリーンキャンペーン」に2009年より参加しています。

建設作業所周辺の清掃活動

長谷工コーポレーションの各作業所では、各々協力会社と連携し、積極的に近隣各所の清掃等を実施しています。

沖縄地区:事業所周辺の清掃活動の実施

長谷工コーポレーション沖縄営業所・長谷工不動産沖縄営業所・長谷工コミュニティ沖縄では、2016年より、毎月最終火曜日に会社周辺の清掃活動を実施しています。

長谷工リフォーム:中大江公園清掃活動の実施

長谷工リフォーム関西支社では、2018年より、毎月第三木曜

日、企業ボランティアとして会社周辺地域の一時避難場所にも指定されている中大江公園の清掃を実施しています。

長谷工テクノ:関西機材センター周辺の清掃活動の実施

長谷工テクノでは、2017年より機材センター周辺歩道及び近隣の淀川河川堤防などの清掃活動を協力会社と共に実施しています。



中大江公園清掃活動の様子

■ 長谷工社会貢献活動表彰制度

長谷工グループでは、社員の自発的な社会活動への取り組みが、社会課題への意識を醸成し、事業活動におけるさらなる価値創造や持続可能な社会の実現につながると捉え、社会貢献活動のより一層の活性化を図っています。

社員一人ひとりの意識を高めるとともに、個人・企業とし

ての社会貢献活動に対する評価を明確にする目的で「長谷工社会貢献活動表彰制度」を運用し、特に顕著な活動をした社員・団体を表彰のうえ感謝状を贈呈しています。

長谷工グループにおける社会貢献活動をより活性化するべく制度を運用していきます。

■ 「秩父宮賜杯 全日本大学駅伝」に特別協賛

長谷工グループは、2021年11月7日に開催予定の「秩父宮賜杯 第53回全日本大学駅伝対校選手権大会」に今年も特別協賛します。長谷工グループは2019年より特別協賛を行っており、今年で3回目となります。

2020年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、直接声援を届けることができませんでしたが、長谷工グループ社員の応援メッセージをラベルに入れたオリジナルのペットボトル(ミネラルウォーター)を差し入れるなどし、大会を盛り上げました。

2021年度の出場を賭けた地区選考会は、全国8カ所で6月～9月まで行われました。駅伝応援CM放映や長谷工オリジ

ナル記念品の差し入れなどで、本大会まで盛り上げます。

特別協賛を通じ、社員一丸となって応援することで、スポーツ振興および地域社会の発展に貢献していきます。



第52回全日本大学駅伝の様子

■ 「こども本の森 中之島」への寄付

当社では、本や芸術文化を通じて子どもたちが豊かな感性と創造力を養ってもらう施設として活用してほしいと建築家の安藤忠雄氏が設計し、大阪市に寄付した文化施設「こども本の森 中之島」へ2018年から寄付を行っています。寄付は5年間継続する予定で、本施設の蔵書の購入・施設の管理運営に活用されます。

また、TRC&長谷工 meet BACH 共同事業体が同施設および2022年開業予定の「こども本の森 神戸」の指定管理者に選定されており、施設運営の面からもサポートしていきます。



■ 「SEIJI OZAWA MATSUMOTO FESTIVAL」への協賛

「セイジ・オザワ松本フェスティバル」は、偉大な音楽教育者故齋藤秀雄氏の名を冠して、サイトウ・キネン・フェスティバル松本として開催された国際的な音楽祭です。指揮者・小澤征爾氏とサイトウ・キネン・オーケストラが中心となって、長野県松本市で1992年より毎夏開催されています。

当社では、「国際的な音楽祭を日本で」という主旨や次世

代若手音楽家の育成、小中学生の音楽情操教育支援という目的に賛同し、開催当初から協賛してきました。フェスティバルへの協賛を通じて、芸術・文化活動の発展に引き続き取り組んでいきます。

